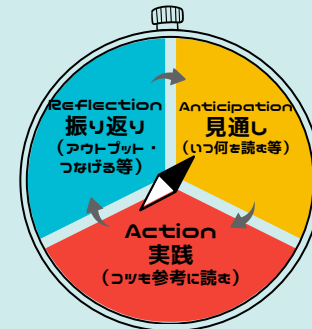


自己成長するための読書スキル ～読書家になるための6つのコツ～



読書習慣が身に付けば、一生モノ！ここでは読書スキルとして、6つのコツ（主・対・深の3視点）を紹介します。読書には、他者の考え方やものの見方、経験等を疑似的に体験（学習）できるよさがあります。6つのコツを色々と試しながら、最終的には自分に合う読書術を見つけていき、生き方を豊かにしましょう。この世の中にある数多の“知”の冒険の主人公はアナタです！めざせ伝説の読書家！
☆読書スキルは一人一人合うものが違います。また、本のレベルや自分の状況によっても変わるので、自分で判断し、カスタマイズさせて使い分けることが大切です。

深める読書スキル

アウトプット



感想を言う、感想を書く、書評を書く、要約する、図解する、関係図を書く、誰かに紹介する、読書日記を書く、学んだ内容を生活の中で実践してみる、続きを創作する、自分ならこうする・こう書く等を考える…等

主体的な読書スキル

習慣化する



毎日〇分と決めて読む（いきなり長い時間設定は△）、読む時間帯を決める、自分のレベルに合った本を読む、好きなジャンルの本を読む、色んな場所に本を置いておく、本屋や図書館へ行ってみる、本を持ち歩く…等

対話的な読書スキル

本と対話する



本に線やメモを書きながら読む（好き、嫌い、疑問、気づき、学び等）、本につっこみを入れたり質問したりしながら読む、本にメモしながら読む、自分の生活や生き方を本を通して問いかけてみる…等

つなげる



知っていることや過去の経験等とつなげながら読む、自分の考えと比較してみる、学びや気づきをつなげて構造化してみる（マインドマップ等）、自分の今後につなげる（新たな目標、チャレンジしたいこと等）…等

自分を調整する



目次から見通しを立てる（読みたい箇所だけ読むのでもOK）、緩急をつけて読む、隙間時間に読む、毎回「全部読まない」と次の本へいけない」という考えを捨てる、レベルが高い・低いを交互に読む、集中できる環境で読む…等

他者と対話する



本の感想を伝え合う、オススメの本を紹介・教えてもらう、本の内容を誰かに説明する、ビブリオバトル（書評コンテスト）をする、他者の読書感想文を読んでみる、考察を伝え合う、読書会に参加してみる…等